

# 六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成  
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 2月号  
令和3年 2月12日  
松阪市立嬉野中学校  
校長 山下隆久

## 卒業式って何？

県内で多くの県立高校や私立高校で入試があり、嬉野中学校からもたくさんの生徒が検査・試験を受けました。校内でも緊張感がひしひしと伝わってくるのを感じます。3年生のみなさんには、健康に留意して、様々な場面で落ち着いて力が発揮できることを望んでいます。

学校では、すでに3年生を送り出す準備が始まっています。その柱が「卒業式」です。正式には「卒業証書授与式」と言い、卒業証書を授与する式典です。この行事は、学校教育の仕組みができあがった初めからある伝統行事です。これまで連綿と続いてきた、いつてみれば学校の歴史そのものです。卒業証書の番号がそのあらわれの一つです。嬉野中学校は今年度の卒業生で10200人を突破します。保護者や地域の皆様の中には、その一人だという方もいらっしゃるはずですが、その積み重ねの先に今年の卒業生が巣立ちます。

今年度も、来賓の方々には列席をご遠慮いただきますが、地域の皆様にとっては地域で育てた子どもの晴れ姿を、保護者の皆様にとっては我が子の成長の確認する場です。このような意義を持つ行事は他にありません。したがって学校の最大行事と考えています。

学校での指導は、「中学校を卒業する成長した姿」という「型」を示す必要があると考えて準備します。卒業生はその目指す姿を理解し、それを全力で表現するのです。立ち居振る舞い、身だしなみ、返事、ことば、合唱等、その全てに全身全霊を込める行事なのです。私は卒業生に、とびっきりの返事を要望します。それはなぜか、ぜひ一人一人に考えてもらい、答えを出してほしいと願っています

保護者の皆様、地域の皆様、今後とも引き続き、嬉野中学校の諸活動へのご理解と温かなご支援をお願い申し上げます。

嬉野中HPアドレス <http://www.ureshino-matsusaka.com/ureshino/>



## 卒業式に彩いを！ 1年生「花育」1月22日(金)



卒業式に向けて、1年生のみなさんが花育コーディネーターの方からご指導をいただきながら花植えをしました。

地域の方も花壇ボランティアとして参加していただきました。1月に植えた花苗が、2月のいまでは少し成長しました。3月8日卒業式のときの鮮やかな彩りが楽しみです。

いま野球部の人たちが毎朝、水やりをしてくれています。ありがとう！



1年生の皆さん、雨の中での作業、ありがとうございました！

# 文化的活動表彰

- 第8回松阪市「図書館を使った調べ学習コンクール」【中学校特別賞】前田倭玖
- 地域清掃「感謝状」 北川実和
- 第88回全国書画展覧会
  - 【特選】辻 真優 【金賞】松井里帆、大西この葉、坂本舜楓、西口佳琳、家城壮汰、松川鈴菜、林 彩生、本多希咲 【銀賞】矢下翔貴、阿部光太郎、森本りおん、小畑美波、望月仁香、石原悠之介、小林恋夏 【銅賞】名越美妃、谷口能暖
- 三重県小中学校松阪地区競書会
  - 【特等】松井里帆、辻 真優、坂本舜楓、加藤愛弓、田川陽彩、林 彩生 【1等】西口佳琳、森本りおん、工藤千紗、谷口能暖、松川鈴菜、小林恋夏、濱田優衣菜、小畑美波、望月仁香
  - 【2等】林 あこ、宇留田七海、澤井楽風、中川恵杜、本多希咲
- 第49回三重県小中学校競書会
  - 【特別賞】辻 真優 【優秀賞】加藤愛弓、坂本舜楓
- 読書感想文松阪地区コンクール
  - 【最優秀】井坂世那 【優秀】田中詩葉、小出啓太
  - 【優良】福田美咲、西口佳琳 【佳作】阿部光太郎、杉本悠太、上山実優、橋本佳奈
- 第53回三重県吹奏楽アンサンブルコンテスト中学校の部南地区大会
  - 混成8重奏 銀賞 混成7重奏 銅賞



## やればできる！DAY 2.1

東京パラリンピック代表 前川 楓さん

### 「楽しく生きていく」

一度きりの人生、思いっきり楽しみたい。津市出身で、今年の東京パラリンピックの走り幅跳び代表に内定している義足のジャンパー・前川楓さんに講演していただきました。

突然の事故から新たな人生を切り開いたトップアスリートのお話は、とても魅力的でした。交通事故で医師から右足切断の宣告。「こんな痛みには耐えないといけないのなら早く切り落としてほしい」と決断した話から講演は始まりました。

「義足を超かっこいいと思っている」と普段から義足を見せて生活している、その義足を足から外して見せていただきました。初めて走った時は感動したという競技用義足で、ジャンプも披露していただきました。リオパラリンピック後、プレッシャーなどで競技をやめようと思った時に実践した「自分の気持ちをすべて受けとめる」「人に会う」「ノートに気持ちを吐き出す」「楽しく生きるを軸に考える」など、私たちの生き方にもヒントとなることを伝えていただきました。素敵な出会いの時間でした。



「好き」は自分の宝物 前川楓さんの言葉より